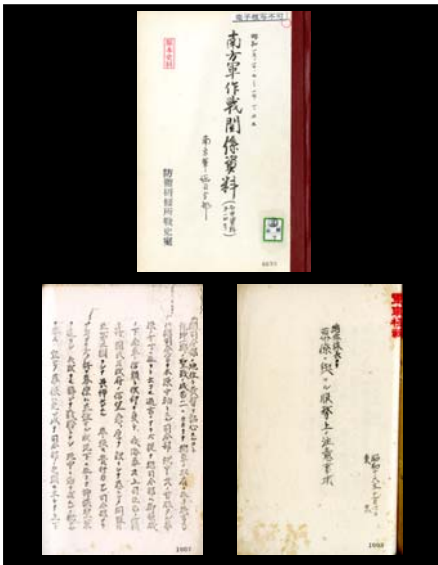


・・・・・・「史料紹介コーナー」・・・・・・

平成26年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

つ か だ      お さ む  
 《 塚 田 攻 1886～1942年 》  
 —茨城県出身の陸軍大将—



**南方軍作戦関係資料**（登録番号：南西-全般-7）

塚田攻大將は、明治40年5月、陸軍士官学校（19期）を卒業後、第8師団長、参謀次長、南方軍総参謀長、第11軍司令官などの要職を歴任しました。この史料は「南方軍作戦関係資料」（昭和16年10月7日～17年1月23日）で、開戦時南方軍作戦課長であった石井正美大佐（のち少将）が作戦記録用として保管していたものです。この中には、昭和16年11月6日、南方軍総参謀長に着任した塚田中將が、翌日司令部全幕僚に対して訓示した「幕僚ニ与フル服務上ノ注意事項」（昭和16年11月7日付）が綴られています。訓示では、幕僚は「司令部ノ先頭ニ立チテ上下左右ノ信頼アリトノ自信、正シキモノハ勝ト云フ信念ヲ以テ率先垂範迅速強烈ナル実行カヲ發揮シ」、「上下左右ガ一心一体ノ実ヲ挙ゲテ統帥上ノ師範タルコト」などを要望しています。



**昭和17年 南方軍各方面作戦計画等綴**（登録番号：南西-全般-27）

昭和16年12月8日、日本陸海軍は南方作戦、すなわち「あ号作戦」を開始しました。「あ号作戦」は、比島作戦（M作戦）や馬來作戦（E作戦）、蘭領印度作戦（H作戦）、グアム作戦（G作戦）、英領ボルネオ作戦（B作戦）、香港作戦（C作戦）、ビスマルク作戦（R作戦）の総称で、これと連動して実施された海軍の真珠湾攻撃は「Z作戦」と呼称されました。この史料は、石井大佐が保管していた「南方軍各方面作戦計画等綴」で、南方軍総参謀長塚田中將が大本營に報告した「南方軍状況報告」（昭和17年1月12日付）が綴られています。これによれば、「南方軍全般ノ作戦ハ（中略）予定ノ如ク進捗中ニシテ」、「目下H作戦ノ繰上ケニ関シ着々準備中」、「E、M、H作戦ノ終了ニ伴ヒ南方軍ノ永駐態勢ヲ確立スル」ことなどが報告されています。

**《お知らせ》**

史料保存のためのマイクロ撮影にともない、一時的に閲覧できない史料があります。  
 詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。  
 防衛研究所企画部企画調整課  
 専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）  
 外線：03-3713-5912  
 FAX：03-3713-6149      ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>